



世界と向き合い 未来の創り手として 輝き続ける人

## 第2期さいたま市教育振興基本計画

～人生100年時代を豊かに生きる「未来を拓くさいたま教育」の推進～

### <さいたま市教育アクションプラン>

令和3年度～令和7年度

令和4（2022）年度改定版（改定箇所のみ）

令和5年3月

さいたま市教育委員会

## 基本的方向性 1

### 1 2年間の学びの連続性を生かした 「真の学力」の育成

#### 施策展開

- 他者と協働しながら新たな価値を創造していく力を育成する。
- 夢を実現しようとする高い志を持って、可能性に挑戦する力を育成する。

- 1-01 アクティブ・ラーニングの推進
- 1-02 ICTを活用した学びの改革
- 1-03 全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びの実現
- 1-04 特別支援教育を受ける子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びの実現
- 1-05 読解力向上に向けた学習指導の充実
- 1-06 さいたまSTEAMS教育の推進
- 1-07 「さいたま市小・中一貫教育」の推進
- 1-08 市立高等学校「特色ある学校づくり」の推進
- 1-09 館岩少年自然の家を活動拠点とした自然体験活動の推進
- 1-10 さいたま市学習状況調査等の活用
- 1-11 保育所・幼稚園等・小学校の連携
- 1-12 子ども読書活動推進事業

1-03 全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びの実現		【所管課】 指導1課	【総振事業コード】 —				
事業目的	社会状況の変化や児童生徒が多様化する中で、決して誰一人取り残さないことを公立学校の責務とし、児童生徒一人ひとりの可能性を最大限に伸ばし、社会をよりよく生きる資質・能力を育成する観点から個別最適な学びの実現を図ります。						
事業内容	<p>全ての市立学校において、学習内容の確実な定着を図る観点や、その理解を深め、広げる学習を充実させる観点から、カリキュラム・マネジメントの充実・強化を図り、全ての児童生徒の資質・能力を確実に育成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 研究指定校において、ICTの活用により蓄積した学習履歴（スタディ・ログ）等に基づいて児童生徒の特性や学習進度等を丁寧に把握し、その状況に応じた基礎的な学習の定着を図る教材の提供など、効果的な指導方法の研究を行います。</li> <li>● 児童生徒の学習のつまずきによる学習意欲の低下や発達段階に応じた個別の教育的ニーズに対応するために、学習の悩みや理解度に寄り添いながら個別の助言等を行い、分かることの喜びや充実感を味わわせる多様な場を設定します。</li> <li>● 児童生徒一人ひとりの興味・関心やキャリア形成の方向性等に応じて、学びをより深く追究したり、より高いレベルに挑戦したりするための教育環境を整備します。</li> </ul>						
目標指標	実績	各年度目標					計画期間 最終目標
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
(1)	「学習した内容について、分かった点や、良く分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていると思う」について肯定的な回答をした児童生徒の割合	—	前年度比 1ポイント 増	前年度比 1ポイント 増	前年度比 1ポイント 増	前年度比 1ポイント 増	令和7年度までに 令和3年度比 4ポイント増
(2)	自律的に学習を進めたり学習の悩みを相談したりできる学習スペースを設置した学校の割合	85%	90%	95%	98%	100%	令和7年度までに 100%
(3)							

1-05 読解力向上に向けた学習指導の充実		【所管課】 指導1課	【総振事業コード】 —					
事業目的	ICTを効果的に活用した取組や教科横断的な視点を踏まえた読解力向上のための授業改善について研究し、その成果を広めることで、従前からの読解力に加えて、デジタルコンテンツを読み解き活用する力など、今日的な課題に応じた読解力を育成します。							
事業内容	<p>学校訪問等において、協働学習用ソフトウェアなどのICTを効果的に活用した授業改善や読書環境整備など読解力向上へ向けた具体的な指導を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「さいたま読解力向上研究指定校」(小学校3校・中学校3校)において「さいたま読解力向上教育」の研究校や各校の教育活動において、教科横断的な視点を踏まえた効果的な授業研究やカリキュラム開発を推進します。</li> <li>● 研究指定校の教員を中心とした「読解力向上プロジェクトチーム」を設置し、デジタル教材を作成するとともに、基礎的なものからより実践的なものまで幅広く読解力向上に資する学習活動をまとめた資料集「読解力向上 Activities」を作成します。</li> <li>● 児童生徒の読解力を測定する「読解力チャレンジカップ」を令和4年度から実施し、読解力向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立します。</li> </ul>							
目標指標	実績	各年度目標					計画期間 最終目標	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
(1)	全国学力・学習状況調査の国語「読むこと」に係る調査問題において、全国平均と市平均の差の割合	国の平均正答率 +3.4ポイント (令和元年度)	+3.4 ポイント	+3.8 ポイント	+4.2 ポイント	+4.6 ポイント	+5.0 ポイント	令和7年度までに 国の平均正答率 +5.0ポイント
(2)								
(3)								

1-06 さいたまSTEAMS教育の推進		【所管課】 指導1課	【総振事業コード】 04-1-1-03					
事業目的	Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Art（デザイン・感性等）、Mathematics（数学）にSports（スポーツ）を加えた本市独自の「さいたまSTEAMS教育」を推進し、児童生徒に実生活や実社会、コロナ禍により今後一層予測困難となる未来社会に対しての最適解を見出す力をはぐくみます。							
事業内容	「さいたまSTEAMS教育」モデル校による先行実施を踏まえ、教科横断的なプロジェクト型学習「STEAMS TIME」を令和4年度より着実に実施します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学習カリキュラムを作成します（令和3年度）</li> <li>● さいたまSTEAMS教育研究指定校の委嘱・研究を推進します（令和4年度まで）</li> <li>● 市内優良実践校による実践発表会を開催します（令和4年度から）</li> </ul>							
目標指標	実績	各年度目標					計画期間 最終目標	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
(1)	教科横断的なプロジェクト型学習の実施校数	—	委嘱校等 18校	168校 (100%)	168校 (100%)	168校 (100%)	168校 (100%)	令和7年度までに 168校(100%)
(2)	<a href="#">全国学力・学習状況調査さいたま市学習状況調査「授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか」</a> の項目に対して肯定的な回答率	79% (令和元年度)	80%	81 <u>84.5%</u>	82 <u>85%</u>	83 <u>85.5%</u>	84 <u>86%</u>	令和7年度までに 84 <u>86%</u>
(3)								

1-08 市立高等学校「特色ある学校づくり」の推進		【所管課】 高校教育課	【総振事業コード】 04-1-1-05					
事業目的	生徒・保護者のニーズを踏まえた質の高い教育活動を実践するため、各市立高等学校を更に充実・発展し、ウィズコロナ、アフターコロナの予測不可能な時代にあっても、高い志を持ち世界で活躍する人材を育成する高校づくりを目指します。							
事業内容	市立高等学校「特色ある学校づくり」計画に基づき、それぞれの特徴を生かした学校づくりを更に充実・発展します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 浦和高等学校：併設型中高一貫校の特徴を生かし、文武両道の進学校として進路実現を目指す環境を整えるとともに、高い志を持った人材を育てます。</li> <li>● 浦和南高等学校：「スポーツを科学する生徒」の育成に取り組むとともに、人工芝グラウンドを活用し、地域連携型高校としての取組を一層推進します。</li> <li>● 大宮北高等学校：SSH（※）第2期の指定を目指すとともに、科学技術分野で日本をリードする人材を育成します。</li> <li>● ICTを効果的に活用し、体験的な海外都市との交流をとおして、協働的な学びを実現し、多様な他者と共に問題の発見や解決に挑む資質・能力を育成します。</li> </ul>							
目標指標	実績	各年度目標					計画期間 最終目標	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
(1)	市立浦和高等学校 ・3学年で志望した大学への進路実現率 <del>(対令和元年度比)</del>	52.4% (令和元年度)	53.4%	54.4%	55.4%	56.4%	57.4%	令和7年度までに <u>5ポイント増</u> <u>57.4%</u>
(2)	市立浦和南高等学校 ・地域交流・開放事業の回数 <del>(対令和元年度比)</del>	128回 (令和元年度)	130回	131 <u>150</u> 回	132 <u>150</u> 回	133 <u>150</u> 回	134 <u>150</u> 回	令和7年度までに <u>6回以上増</u> <u>の5年間で730回</u>
(3)	市立大宮北高等学校 ・理数教育活動における交流・連携先件数 <del>(対令和元年度比)</del>	23件 (令和元年度)	25件	26件	27件	28件	29件	令和7年度までに <u>6件以上増</u> <u>の5年間で135件</u>
(4)	ICTを活用し、社会課題に向き合い、課題解決に向け探究的な学習を進める意欲を高めた生徒の割合	43.2% (令和元年度)	48%	49 <u>63%</u>	50 <u>64%</u>	51 <u>65%</u>	52 <u>66%</u>	令和7年度までに <u>5266%とする</u>

※ 「スーパーサイエンスハイスクール」の略。未来を担う科学技術系人材を育成するため、文部科学省が指定

1-12 子ども読書活動推進事業		【所管課】 資料サービス課	【総振事業コード】 —				
事業目的	生涯にわたり深い学びの支えとなる自主的な読書活動ができるように、読書が好きな子どもの割合を増やします。						
事業内容	<p>「さいたま市子ども読書活動推進計画」に基づき、家庭・地域・学校等と連携し、子どもの読書活動を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「さいたま市子ども読書の日」を創設し、毎月23日を中心に読書の普及啓発を図ります。</li> <li>● 図書館WEBコンテンツの充実、及び「わたしの本棚（読書ノート）」の利用普及、動画やSNS等による情報発信を進めます。</li> <li>● SDGsの理解を深めるために役立つ本を、図書館WEBサイトや展示会等で紹介します。</li> <li>● 学校図書館支援センターが核となり、「資源共有ネットワーク」による蔵書の共同利用を促進し、学校の読書活動、調べ学習活動を支援します。</li> </ul>						
目標指標	実績	各年度目標					計画期間 最終目標
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
(1) 「さいたま市子ども読書の日」に係る普及啓発活動の実施回数	—	65回	<del>70</del> 210回	<del>75</del> 215回	<del>80</del> 220回	<del>85</del> 225回	令和7年度までに <del>85</del> 225回
(2) 図書館WEBコンテンツ（子ども向け）作成件数	81件 (令和2年度)	103件	<del>125</del> 140件	147件	169件	191件	令和7年度までに 191件
(3)							

## 基本的方向性 2

### グローバル社会で活躍できる 豊かな人間性と健やかな体の育成

#### 施策展開

- コミュニケーションを通じて人間関係を築く力、豊かな情操や規範意識、ものごとを最後までやり抜く力、社会的・職業的自立に向けた能力・態度等を育成する。
- 生涯にわたってたくましく生きるために必要な健康や体力を育成する。

- 2-01 グローバル・スタディの推進
- 2-02 国際教育の推進
- 2-03 未来（みら）くるワーク体験（中学生職場体験事業）の推進
- 2-04 未来（みら）くる先生を活用したキャリア教育の推進
- 2-05 生徒指導・教育相談の推進
- 2-06 特別支援教育の推進
- 2-07 特別支援教育の専門性向上
- 2-08 グローバル人材を育成する中等教育学校の整備
- 2-09 SDGsの実現を目指した教育の推進
- 2-10 主権者教育の推進
- 2-11 人権教育の推進
- 2-12 道徳教育の推進
- 2-13 子どもの体力向上の推進
- 2-14 スポーツを科学する生徒の育成
- 2-15 地域・家庭・学校が連携した食を通じた健康づくり
- 2-16 「さいたま子ども短歌賞」の推進
- 2-17 不登校等児童生徒への支援の充実

2-05 生徒指導・教育相談の推進		【所管課】 指導2課、総合教育相談室	【総振事業コード】 04-1-2-04				
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>悪質ないじめ、問題行動等に適切・迅速に対応するため、外部専門家を活用して学校を支援します。</li> <li>学校生活に関わる不安や悩みなどに対応するため、予防、アセスメント、支援、ケアを段階的・総合的に展開し、教育相談を推進します。</li> </ul>						
事業内容	<p>コロナ禍による児童生徒を取り巻く環境の変化や心の不安、ストレスが、児童生徒の背景にあることを念頭に置き、小さな変化を見逃すことのないよう学校が組織的に対応するとともに、警察や児童相談所等の関係機関との連携・協力のネットワークを強化し、生徒指導、教育相談を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いじめを早期発見し、適切かつ迅速に対応するよう学校に指導していきます。また、学校からの要請に応じ、専門職員の派遣や関係機関との連携を迅速に行っていきます。</li> <li>「さいたま市子ども会議」や「いじめ防止シンポジウム」を開催し、市を挙げていじめ撲滅に向けた機運を高めます。</li> <li>児童生徒や保護者の抱える悩みを受け止め、学校におけるカウンセリング機能の充実を図るため、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、さわやか相談員をすべての市立学校へ配置派遣し、教育相談体制の充実を図ります。</li> <li>複雑化、多様化する子どもの状況への対応を強化するため、教員やスクールソーシャルワーカーを対象にした研修を実施し、支援の質の向上を図ります。</li> </ul>						
目標指標	実績	各年度目標					計画期間 最終目標
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
(1) スクールロイヤー(※)等専門家チームのアドバイス等で、課題の解決に向かった割合	65% (令和元年度)	70%	75 98%	80 99%	85 100%	90 100%	令和7年度までに99100%
(2) スクールソーシャルワーカーを対象にした研修等の実施	3回 (令和2年度)	4回	6回	8回	8回	8回	令和7年度までに8回
(3)							

※ いじめ問題など、学校で起こるさまざまな問題の予防と解決のために、法的な助言をする弁護士のこと

2-06 特別支援教育の推進		【所管課】 特別支援教育室	【総振事業コード】 04-1-2-05				
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍により今後一層予測困難となる社会においても、通常の学級に在籍する障害のある児童生徒が、身近な教室で障害に応じた特別の指導を受けられるようにします。</li> <li>「さいたま市GIGAスクール構想」を活用して、特別支援教育を受ける児童生徒一人ひとりの可能性を最大限に伸ばし、個別最適な学びの実現を図ります。</li> <li>知的障害児の特別支援学校等に係る教育環境の充実を図ります。</li> </ul>						
事業内容	<p>通常の学級に在籍する障害のある児童生徒が、身近な教室で障害に応じた特別の指導を受けられるようにすることが必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小・中学校における発達障害・情緒障害通級指導教室の新設・増設を実施します。</li> </ul> <p>特別支援教育担当教員による特別支援教育の研究ネットワークをつくり、指導事例を共有し、個別最適な学びを実現します。埼玉県と連携し、既存施設を活用した方策などを検討し、知的障害児の特別支援学校等に係る教育環境の充実を図ります。</p>						
目標指標	実績	各年度目標					計画期間 最終目標
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
(1) 発達障害・情緒障害通級指導教室の新増設数	1教室 (令和2年度)	3教室	3教室	3教室	3教室	3教室	令和7年度までに15教室
(2) 特別支援教育の研究ネットワークによる共有指導事例数	—	200事例	200事例	200事例	200事例	200事例	令和7年度までに1,000事例
(3) 知的障害児の特別支援学校等に係る教育環境の充実	—	方策の検討	検討結果を踏まえ設定 特別支援学校 知的障害教育 部門高等部の 設置準備	検討結果を踏まえ設定 特別支援学校 知的障害教育 部門高等部の 設置	検討結果を踏まえ設定 ＝	検討結果を踏まえ設定 ＝	検討結果を踏まえ設定 令和5年度までに特別支援学校知的障害教育部門高等部を設置

2-12 道徳教育の推進		【所管課】 指導1課	【総振事業コード】 —				
事業目的	各校において、 <b>特別の教科である道徳道徳科</b> を要として、学校の教育活動全体で道徳教育を進めるとともに、家庭や地域と協力して児童生徒の道徳性の涵養に努めます。						
事業内容	各学校において各教育活動での道徳教育がその特質に応じて意図的、計画的に推進され、相互に関連が図られるとともに、道徳科が道徳教育の要としての役割を果たすことができるように具体的に指導を行います。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校訪問を通して協働学習用ソフトウェア等のICTを効果的に活用し、「考え、議論する道徳」の授業について具体的な指導を行います。</li> <li>● 研究指定校を委嘱し、幼児期の教育との接続や義務教育9年間を見通した小・中学校教育との接続など、あらゆる教育活動における道徳教育を俯瞰して捉え、児童生徒の発達段階に応じたカリキュラムを研究します。</li> <li>● さいたま市の郷土教材を扱った読み物資料集について、内容を改訂するとともにデジタル化を図り、1人1台端末における活用を推進します。</li> </ul>						
目標指標	実績	各年度目標					計画期間 最終目標
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
(1)	さいたま市学習状況調査の「人が困っているときには、進んで助けていますか。」という質問項目に対する児童生徒の肯定的な回答割合  91.0% (令和2年度)	91.5%	92.0%	92.5%	93.0%	93.5%	令和7年度まで 93.5%
(2)							
(3)							

2-13 子どもの体力向上の推進		【所管課】 指導1課	【総振事業コード】 04-1-2-10				
事業目的	学校・家庭・地域・行政が連携のもと、豊かなスポーツライフの実現を目指すために、子どもたちの体力向上を図ります。						
事業内容	<p>児童生徒の運動やスポーツに対する意欲の向上、運動習慣の確立、身体能力の一層の向上を目指す「子どものための体力向上サポートプラン(2018)」に基づき、学校体育の充実と運動の習慣化を図ります。また、新型コロナウイルス感染症対策による活動制限・運動不足の長期化による影響(発育・発達不足)を解消するため、新しい生活様式において安全に運動・スポーツを行う重要性についても指導します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 握力・投力向上「にぎなげプロジェクト」を推進します。</li> <li>● 体育・保健体育授業の充実「新体力アップメニューを活用した授業づくり」を推進します。</li> <li>● 体育的活動の充実「体力アップキャンペーンの推進」を推進します。</li> </ul> <p>児童生徒の健康で幸福な生活の実現に向けて、体育・保健体育の授業の充実、体育的活動の充実を重点とし、よりよい運動習慣の形成や体力・運動能力の向上につなげる「子どものための体力向上サポートプラン～さいたま健康アクティビティ2022～」を推進することで、児童生徒の体力の一層の向上を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 体力向上サポートプラン内に掲げた「新体力アップメニュー」を重点的に活用し、児童生徒のバランスのよい体づくりを目指します。</li> </ul>						
目標指標	実績	各年度目標					計画期間 最終目標
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
(1)	新体力アップメニューを活用している小・中・中等教育学校の割合  138校(85%) (令和元年度)	143校 (88%)	148校 (91%) 163校 (100%)	153校 (94%) 163校 (100%)	158校 (97%) 163校 (100%)	163校 (100%)	令和7年度まで に 163校(100%) を維持
(2)							
(3)							

2-17 不登校等児童生徒への支援の充実		【所管課】 総合教育相談室	【総振事業コード】 04-1-2-12				
事業目的	不登校等児童生徒が社会的に自立することを目指し、一人一人の状況に応じて専門職等による相談を充実させるとともに、ICTを活用した学習支援や訪問型支援等を積極的に推進します。						
事業内容	不登校等児童生徒への相談体制や教員研修を強化し、教育相談室・教育支援センター等と学校が連携して、不登校等児童生徒への相談支援の充実を図ります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 不登校等児童生徒に対するICTを活用した学習支援（オンライン授業等）を実施します。</li> <li>● 不登校等児童生徒が、ICTを活用した学習支援（オンライン授業等）に取り組んだ場合に、「指導要録上の出席扱い」となるよう、在籍校と連携します。</li> <li>● 対面や電話相談に加えて訪問型支援（アウトリーチ）等を実施し、学校外での相談・支援の充実を図ります。</li> <li>● 「子育て学習会」を開催し、不登校等で悩む保護者を支援します。</li> </ul>						
目標指標	実績	各年度目標					計画期間 最終目標
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
(1) 不登校等児童生徒数のうち、「指導要録上出席扱い」となった割合	13% (令和2年度)	20%	30%	40%	50%	50%	令和7年度までに50%
(2) 訪問型支援等の延べ件数	320件 (令和2年度)	320件	<del>500</del> 560件	700件	700件	700件	令和7年度までに700件
(3) 子育て学習会の実施回数	6回 (令和2年度)	6回	12回	18回	18回	18回	令和7年度までに18回

## 基本的方向性 3

### 人生100年時代を 輝き続ける力の育成

#### 施策展開

- 生きがいを持ち、生涯にわたって質の高い学びを続けられる環境を整備する。
- 人生を豊かに生きるために、学んだことを生かして活躍できる環境を整備する。

- 3-01 さいたま市民大学事業の推進
- 3-02 図書館を通じた生涯学習環境整備の推進
- 3-03 子どもの学び・親子の育ちの支援の充実
- 3-04 博物館・美術館・科学館を通じた生涯学習環境整備の推進
- 3-05 生涯学習施設と学校との連携事業の充実
- 3-06 公民館・図書館施設リフレッシュの推進
- 3-07 さいたま市生涯学習「学びのネットワーク」の推進
- 3-08 生涯学習人材バンクの推進
- 3-09 さいたま市生涯学習コンテンツの推進
- 3-10 次世代に向けた歴史文化資源の保存・継承・活用

3-02 図書館を通じた生涯学習環境整備の推進		【所管課】 資料サービス課、 <u>管理課、生涯学習総合センター</u>	【総振事業コード】 04-1-3-02				
事業目的	市民が生涯にわたる学びを進めていける、質の高い生涯学習環境を実現します。 <u>また、地域とつながりの深い公民館と「地域の知の拠点」である図書館を連携させることで、人生100年時代の学びを支えます。</u>						
事業内容	「安心安全な図書館の運営」と「市民への情報提供」という基本的な図書館の使命を果たしながら、市民が質の高い生涯学習に取り組めるよう、「地域の知の拠点」として市民の学びを支えるため、様々な取組や環境整備を推進します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民の多様な要求に応えられる幅広く計画的な図書館資料の整備を行います。</li> <li>● 図書館利用を促進するため、SNSを活用したイベントなどの情報発信を行います。</li> <li>● 感染症の流行下における学びを保障するとともに、より質の高い学びを提供するため、電子書籍の充実や図書館ホームページへの学びのためのコンテンツの拡充を行います。</li> <li>● 知的好奇心を喚起するための講座等の催しや、資料との出会いを創出するためのテーマ展示等を実施します。</li> <li>● 子どもの読書活動の推進のため、学校・保育園等とも連携して、子ども向けの事業を展開します。</li> <li>● <u>市民が生涯にわたる学びを進めていくため、地域とつながりの深い公民館と連携事業を実施します。</u></li> </ul>						
目標指標	実績	各年度目標					計画期間 最終目標
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
(1) 図書・雑誌・視聴覚資料・電子書籍の個人貸出点数	9,253,983点 (令和元年度)	9,798,000点	9,834,000点	9,871,000点	9,908,000点	9,945,000点	令和7年度までに 9,945,000点
(2) 図書館の利用に関するアンケートにおいて「満足」・「やや満足」と答えた利用者の割合	91.3% (令和2年度)	91.5%	91.5%	92.0%	92.5%	93.0%	令和7年度までに 93.0%
(3) 読書について、「好き」・「どちらかといえば、好き」と答えた児童生徒の割合	小学生 79.9% 中学生 71.8% 高校生 78.3% (令和元年度)	小学生 81.0% 中学生 71.8% 高校生 79.9%	小学生 82.0% 中学生 73.0% 高校生 81.2%	小学生 83.0% 中学生 74.0% 高校生 82.5%	小学生 84.0% 中学生 75.0% 高校生 83.7%	小学生 85.0% 中学生 76.0% 高校生 85.0%	令和7年度までに 小学生 85.0%、 中学生 76.0%、 高校生 85.0%
(4) <u>図書館と公民館の連携事業数</u>	=	=	30事業	33事業	36事業	39事業	令和7年度までに 39事業

3-04 博物館・美術館・科学館を通じた生涯学習環境整備の推進		【所管課】 青少年宇宙科学館、博物館、うらわ美術館	【総振事業コード】 04-1-3-04				
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 博物館において、さいたま市の歴史文化資源を紹介し、郷土に関する知識を醸成します。</li> <li>● 美術館において、魅力ある美術作品を身近に鑑賞できる環境を整えます。</li> <li>● 科学館において、「宇宙時代をたくましく生き、未来を創造する人」を育成します。</li> </ul>						
事業内容	人生100年時代を輝き続けるために、市民が高度で質の高い生涯学習に取り組めるよう、各生涯学習関連施設では特色ある学習環境を整備するとともに、利活用を促進します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民の知的好奇心を喚起する、専門的で魅力あふれる展覧会や講座等の実施により、多世代を対象とした多種多様な学びの機会を提供します。</li> <li>● 市立小・中・高等学校等との連携により、児童生徒が歴史、伝統、文化、科学、美術等に直接触れることのできる体験的な学びの機会を提供します。</li> <li>● コロナ禍においても市民の学びを止めないよう、各施設による学習資源を生かした動画コンテンツの配信等による、学習機会の提供を行います。</li> </ul>						
目標指標	実績	各年度目標					計画期間 最終目標
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
(1) 博物館ホームページの閲覧件数	128,766件 (令和元年度)	131,300件	<del>132,300</del> 159,000件	<del>133,300</del> 160,000件	<del>134,300</del> 161,000件	<del>135,300</del> 162,000件	令和7年度までに <del>135,300</del> 162,000件
(2) 市民の多種多様なニーズに応え、美術館に来館するきっかけにつながるイベント企画の件数	2件 (令和2年度)	3件	4件	5件	6件	7件	令和7年度までに 7件
(3) 『宇宙のまち さいたま』教育プロジェクトに連携・協働する企業、大学、NPO等、団体の延べ数	39団体 (令和元年度)	41団体	42団体	43団体	44団体	45団体	令和7年度までに 45団体

3-08 生涯学習人材バンクの推進		【所管課】 生涯学習振興課	【総振事業コード】 04-1-3-06				
事業目的	人生 100 年時代、Society5.0 など、社会が大きく変化する中において、誰一人として取り残されることなく生きがいを感じることでできる包摂的な社会の実現に向けて、生涯学習の果たす役割が期待されているなか、学習機会の拡充や学習成果の活用の仕組みを作り、生涯学習の振興と地域における豊かなつながりを創出します。						
事業内容	<p>生涯学習の振興と地域における豊かなつながりの創出に向けて、学習機会の拡充や学習成果の活用の仕組みを強化します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習に関する専門的な知識や技能、経験等を有している方々を「生涯学習人材バンク」に登録し、学習したい方の希望に合わせて紹介します。</li> <li>感染症の流行下における学びを保障するとともに、より質の高い学びを提供するため、「生涯学習人材バンク」において、双方向によるオンライン講座実施に向けた環境を整備します。</li> </ul>						
目標指標	実績	各年度目標					計画期間 最終目標
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
(1) マッチング件数	142 件 (令和元年度)	令和2年度 比5%増	令和2年度 前年度比 10%増	令和2年度 前年度比 4510%増	令和2年度 前年度比 2010%増	令和2年度 前年度比 2510%増	令和7年度までに 令和2年度比 2510%増を 達成継続
(2)							
(3)							

3-09 さいたま市生涯学習コンテンツの推進		【所管課】 生涯学習振興課、文化財保護課、青少年宇宙科学館、博物館、うらわ美術館、生涯学習総合センター、資料サービス課	【総振事業コード】 04-1-3-07				
事業目的	社会全体のデジタル化が進む中、デジタルコンテンツによる生涯学習環境の充実を図り、新しい時代における市民の学習ニーズに応えます。						
事業内容	<p>アフターコロナにおける社会全体のデジタル化の進展を見据え、新しい技術やそれを活用した学びの利点を最大限生かしながら、市民に質の高い学びの機会を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習コンテンツをパッケージ化し、本市ウェブサイトで配信します。</li> <li>従来の対面型講座とデジタルコンテンツを組み合わせる（ハイブリッド化）ことで、学びの質を向上させます。</li> </ul>						
目標指標	実績	各年度目標					計画期間 最終目標
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
(1) 市 Web サイトで配信する生涯学習コンテンツ数	81 コンテンツ件 (令和2年度)	85 コンテンツ件	90 コンテンツ 200 件	95 コンテンツ 210 件	400 コンテンツ 220 件	405 コンテンツ 230 件	令和7年度までに 405 コンテンツ 230 件
(2)							
(3)							

## 基本的方向性 4

### スクール・コミュニティによる 連携・協働の充実

#### 施策展開

- 学校・家庭・地域・行政の連携・協働体制を構築し、地域の教育力の向上を図るとともに、地域に信頼される学校づくりを推進する。
- 地域の多様な教育資源を活用し、地域コミュニティの活性化と、地域発展の担い手となる人材を育成する。

- 4-01 コミュニティ・スクールの推進
- 4-02 スクールサポートネットワークの推進
- 4-03 チャレンジスクールの充実
- 4-04 学校安全ネットワークの推進
- 4-05 「自分発見！」チャレンジ up さいたま推進事業

4-02 スクールサポートネットワークの推進		【所管課】 生涯学習振興課	【総振事業コード】 04-1-4-02				
事業目的	学校・家庭・地域・行政が連携・協働し、コロナ禍により今後一層予測困難となる社会においても、地域全体で未来を担う子どもたちをはぐくみます。						
事業内容	<p>多様な人々がネットワークを組み、社会総掛かりで子どもをはぐくむために、地域学校協働活動を推進していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校と地域の連絡・調整や多様な活動の企画・調整等を担う学校地域連携コーディネーターを配置するとともに、スクールサポートネットワーク協議会を開催します。</li> <li>● 校長会や学校地域連携コーディネーター研修会等において、コロナ禍の影響を踏まえた地域学校協働活動の実践事例を紹介するなど、学校と地域の連携・協働を一層推進します。</li> </ul>						
目標指標	実績	各年度目標					計画期間 最終目標
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
(1)	「学校での教育に役立てることができる地域にある素材や人材を豊富に知っていますか」に「そう思う」「ややそう思う」と回答した学校の割合 19% (令和元年度)	30%	35 86%	40 86%	45 86%	50 86%	令和7年度までに 5086%を維持
(2)							
(3)							

4-04 学校安全ネットワークの推進		【所管課】 健康教育課	【総振事業コード】 04-1-4-04				
事業目的	子どもに対する犯罪を防止・軽減し、通学区域の安全性を向上させます。						
事業内容	<p>子どもを不審者による犯罪から守るために、PTA や地域の諸団体と連携しながら、多くの人の目で子どもを見守る「学校安全ネットワーク」を推進し、通学区域全体の安全性を高めていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「防犯ボランティア」「子どもひなん所110番の家」「子ども安全協定」「ながら見守りボランティア」を推進します。</li> <li>● 「学校安全ネットワーク推進研修会」「防犯ボランティア研修会」等を実施します。</li> </ul>						
目標指標	実績	各年度目標					計画期間 最終目標
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
(1)	ながら見守りボランティアの登録者数 1,539人増(令和元年度) ※2,889人(R2.4.1時点)	500人増	500 1000 人増	500 1000 人増	500 1000 人増	500 1000 人増	令和7年度までに 登録者数 2,500 4,500人増
(2)							
(3)							

## 基本的方向性 5

### 「未来を拓くさいたま教育」 推進のための基盤整備

#### 施策展開

- 新しい時代の教育に向けた学校の指導体制を構築する。
- 安全・安心で質の高い教育環境を整備するとともに、学校安全体制を推進する。

- 5-01 教員の資質能力の向上
- 5-02 人づくり、人材確保改革の推進
- 5-03 部活動指導員配置の推進
- 5-04 学校における働き方改革の推進
- 5-05 学校リフレッシュ計画及び学校トイレの洋式化等の推進
- 5-06 防災教育や交通安全対策の推進
- 5-07 教育環境整備の推進
- 5-08 セーフコミュニティと連携した学校安全の推進
- 5-09 学校用務業務等の委託化
- 5-10 学校体育館への空調機設置の推進
- 5-11 公民連携した奨学金制度の拡充
- 5-12 小学校 35 人学級の実現

5-05 学校のリフレッシュ計画及び学校トイレの洋式化等の推進		【所管課】 学校施設課、 <u>学校施設整備課</u> 、 <u>学校施設管理課</u> 、 高校教育課					【総振事業コード】 04-1-5-03	
事業目的	安全・安心で持続的な教育環境を確保します。							
事業内容	<p>学校の改修・建替え及びトイレ洋式化等を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校施設リフレッシュ基本計画に基づき、感染症の拡大防止にも十分配慮した改修・建替えを実施します。</li> <li>● トイレ内水栓の自動化等、衛生面に配慮した学校トイレの洋式化に向け、改修工事設計・改修工事を実施します。</li> </ul>							
目標指標		実績	各年度目標					計画期間 最終目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
(1)	学校施設リフレッシュ基本計画に基づいた改修・建替えに着手	2校 (令和2年度)	6校	1校	3校	8校	8校	令和7年度までの5年間の累計で26校の改築・改修工事に着手
(2)	市立小・中学校のトイレ洋式化率向上	65.5% (令和元年度)	76.0%	79.5%	83.0%	86.5%	90.0%	令和7年度までに90%
(3)								

5-07 教育環境整備の推進		【所管課】 教育政策室、学事課、 <u>学校施設課</u> 、 <u>学校施設整備課</u> 、 <u>学校施設管理課</u> 、指導1課、教職員人事課、特別支援教育室、健康教育課					【総振事業コード】 04-1-5-05	
事業目的	学校規模の適正化とともに本市の教育の質の向上を図ります。							
事業内容	<p>単なる学習の場ではなく、学びと生活の共同体として、児童生徒に社会の形成者としての資質・能力(協働性・社会性等)を育成するため、持続的で魅力ある教育活動を実現できる教育環境整備を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 義務教育学校を始めとした新設校の設置、通学区域の調整等、良好な教育環境の整備に向けた取組を推進します。</li> <li>● 大和田特定土地区画整理事業地内に確保されている学校用地を活用し、大砂土東小学校及び大谷小学校の過大規模状態を解消するために、新設校を建設します。</li> <li>● 武蔵浦和駅周辺地区における学校規模の不均衡による課題の解消と、「さいたま市小・中一貫教育」の更なる推進を図るため、義務教育学校を建設します。</li> <li>● 水泳授業を民間委託化することなどにより、教育の質の向上とともに、学校プールの活用のあり方を検討し、持続可能で機能性・合理性を高めた教育環境の整備を実現します。</li> </ul> <p>◆新設大和田地区小学校について、令和4年6月に事業計画の変更を行ったことから、各年度の目標等の見直しを行いました。</p>							
目標指標		実績	各年度目標					計画期間 最終目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
(1)	新設大和田地区小学校の開校	整備手法の検討 (令和2年度)	基本設計	実施設計	建設工事 実施設計	建設工事	開校 建設工事	令和7年4月に新設小学校を開校 令和6年度までに建設工事着手
(2)	武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校の開校	—	基本計画	基本設計	基本設計 実施設計	実施設計	建設工事	令和7年度までに建設工事着手
(3)								

5-08 セーフコミュニティと連携した学校安全の推進		【所管課】 健康教育課	【総振事業コード】 04-1-5-06				
事業目的	学校安全の更なる推進を図り、子どものけがを減らします。						
事業内容	<p>令和元年に WHO が推奨するセーフコミュニティの国際認証を取得したことを踏まえ、インターナショナルセーフスクールにおける取組をセーフコミュニティに反映させ、学校安全の更なる推進を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>セーフコミュニティと連携し、けが発生状況のデータを基に安全に関する校内研修等を実施することで、けがを減少させます。</li> <li>学校安全ネットワークなどを活用し、地域、家庭、関係機関と連携することで通学区域全体の安全性を高めます。</li> </ul>						
目標指標	実績	各年度目標					計画期間 最終目標
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
(1) けが発生状況のデータを基に、安全に関する校内研修等を実施した学校の割合	— (令和2年度)	60%	70 100%	80 100%	90 100%	100%	令和7年度までに100%を維持
(2) 全ての市立学校における児童生徒のけがの件数の減少	8,400件 (令和元年度)	1%減少	2%減少	3%減少	4%減少	5%減少	令和7年度までに5%減
(3)							

5-10 学校体育館への空調機設置の推進		【所管課】 学校施設課 学校施設整備課	【総振事業コード】 04-1-5-07				
事業目的	災害時の避難所機能の強化を図るとともに、良好な教育環境を確保するため、学校体育館への空調機の設置を推進します。						
事業内容	学校体育館は、児童生徒の学習・生活の重要な場である一方で、災害発生時には地域住民の避難所としての役割も担うことから、現在空調機が設置されていない小中学校体育館への空調機の設置を進めてまいります。						
目標指標	実績	各年度目標					計画期間 最終目標
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
(1) 中学校体育館空調機新規整備	—	実施設計 6校	実施設計 17校 工事6校	実施設計 17校 工事 17校	実施設計 16校 工事 17校	工事 16校	令和7年度までに中学校56校の体育館へ空調機新規整備
(2) 小学校体育館空調機新規整備	—		整備の方向性の検討 PFI等導入可能性調査	P-FI導入可能性の検討 PFI等導入可能性調査	P-FI導入可能性の検討 PFI等導入可能性調査に基づく整備方針の検討	整備方針の決定	令和7年度までに整備方針を決定
(3)							

5-12 小学校 35 人学級の実現		【所管課】 教職員人事課、教職員給与課、 <u>学校施設課</u> 、 <u>学校施設整備課</u> 、 <u>学校施設管理課</u> 、教育財務課、指導1課、健康教育課			【総振事業コード】 04-1-5-09		
事業目的	令和2年度に改正された「公立義務教育諸学校における学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」に基づき、小学校における1学級当たりの人数を、現行の40人から段階的に35人に引き下げます。						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度に小学校3年生、令和5年度に小学校4年生…と段階的に実施し、令和7年度に小学校6年生までの35人学級を実現します。</li> <li>学級数の増加に伴い、学級担任が必要になるため、教職員の定数も増加します。教育の質の維持及び向上のため、加配定数の確保が必要となります。</li> <li>今後、質の高い教員の確保が課題となるため、教員採用計画の見直しを行い、計画的な確保に努めます。</li> <li>学級数が増加する小学校は転用可能な教室等を普通教室に改修します。</li> <li>転用可能な教室等の活用では普通教室を確保できない小学校は仮設校舎を設置します。</li> </ul>						
目標指標	実績	各年度目標					計画期間 最終目標
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
(1) 35人学級実施学年	—	—	小学校3年生で実施	小学校4年生で実施	小学校5年生で実施	小学校6年生で実施	令和7年度に小学校6年生までの35人学級実施
(2)							
(3)							